QUN I E

企業統合における業務プロセス·IT標準化支援

事業環境と課題

2017年にはM&A件数が過去最高の3,000件を超え、さらに2018年のIn-Out(海外企業買収)は1,000件を突破し、今後もその勢いは続くと予想されています。

M&Aの目的は、オペレーションシナジーの追求、成長目標の達成、戦略ギャップの解消を通じて、株主価値を最大化する事です。



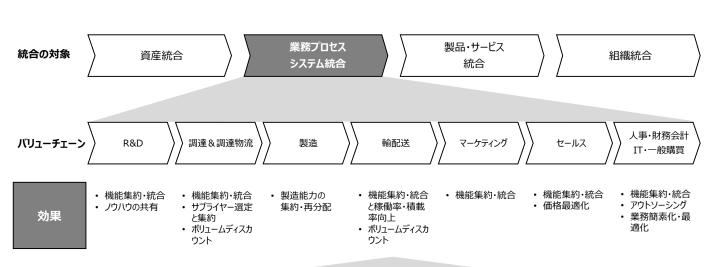
出所:経済産業省 平成29年度 対日直接投資促進体制整備等調査事業 調査報告書 Bloomberg 日本企業、アジアのM & Aで中国上回りトップ

M&Aの目的と価値創造 価値創造(効果) 目的 オペレーションシナジー (コスト、品質、時間、フレキシビリティー等) 成長目標の達成 (顧客および市場アクセス等) 戦略ギヤップの解消 (製品、テクノロジー、パートナー、市場、ノウハウ等)

 3つの価値創造(効果)の中でも、バックオフィスを中心とした スケールメリットやコスト削減価値を創出するオペレーションシナジー が重要です。

企業統合における業務プロセス・IT標準化のPoint Of View

オペレーションシナジー創出のポイントは、規模の経済・範囲の経済を最大化するための組織横断での集約化であり、**業務プロセス・システム・データ・コード体系の標準化が鍵**になります。



ポイント

- 「言葉」の標準化
- 標準業務プロセス定義
- ・ 共通IT基盤設計・実装(アプリ/インフラ統合)
- コード体系標準化
- ・ データ標準化/名寄せ/クレンジング



サービスの特長

- ① 各NTTデータグループ各社と連携し、海外を含め構想策定から保守運用まで一気通貫で案件のご支援が可能です。
- ② 単なる既存システムの置き換えではなく、将来の経営計画までを視野に入れた、将来像設計および 実装に注力しております。
- ③ 業界標準機能テンプレート (Business Function Chart) を活用した標準化アプローチにより、 業務機能の網羅性を担保しつつ、業務標準化をご支援いたします。

戦略策定	テンプレート設計・導入			
企画·構想	業務プロセス・ データ標準化	アプリケーション 開発・テスト	パイロット導入	グループ展開 とサポート
 ●今後の経営計画の確認(将来像) ■経営課題、業務課題の把握(現状課題) ■オペレーションシナジー仮説立案 ■あるべき姿とそれに必要な業務・システム・組織体制の検討 ② 	■標準業務プロセス・データの設計 ・標準業務プロセス設計 ・標準業務プロセス設計 ・データ標準化 ・標準アプリケーション定義 ・ステップ2・3の詳細実行計画策定 3	■標準アプリケーションの 開発とテスト ・標準トランが、からョン設定 ・追加機能・I/F開発 ・レガシーシステム改修 ・テスト	■標準業務プロセス・ データ・アプリケーション をパイロット社へ導入・ユーザートレーニング・移行	■グループ全体への展開 ・グループ会社社固有部分設計、開発、テスト、導入) ・標準アプリケーション (ASPモデル)の保守・運用サービス開始
everis stick rules the difference NTT Data Britehouse'				

Why QUNIE?

消費財業界における豊富なPost Merger Integrationの経験と事例をアセットに、プロジェクト完遂までクライアント企業とともに活動を支援いたします。



株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F

TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293 Email: info@qunie.com https://www.gunie.com



A DIVISION OF DIMENSION DATA